



Nozomi TADA



Daisuke KINOSHITA



Masao ENDO



Makoto GOTO



Hiroto KOBAYASHI



Satoshi FUKUSHIMA



Junichi HAMAJI



Nagako KONISHI



Sachie MURAO

Koshi no Kaze

越の風 2013

2013
11/30 sat.
6:30pm

2000円(当日2500円)

スペースY

(ヤマハミュージックリテイリング新潟店7F)

ロシア・ウラジオストクの作品を招待して

多田望美 作曲

〈ぼんぼり〉フルートとピアノのために(初演)

市橋靖子(フルート)・鈴木賢太(ピアノ)

福島 諭・濱地潤一 作曲

《変容の対象》2012年版より抜粋(初演)

五十嵐 文(サクソ)・品田真彦(ピアノ)

村尾幸映 作曲

7813 ピアノ三重奏曲(初演)

廣川抄子(ヴァイオリン)・渋谷陽子(チェロ)・鈴木賢太(ピアノ)

後藤 丹 作曲(詩:立原道造)

歌曲集〈みまかれる美しきひとに〉(独唱初演)

1.歌ひとつ/2.やがて秋.../3.わかれる昼に/4.みまかれる美しきひとに
北住順子(ソプラノ)・小黒亜紀(ピアノ)

アルビーナ・パソヴァ 作曲

ピアノのための小品集

品田真彦(ピアノ)

木下大輔 作曲

弦楽三重奏曲(初演)

廣川抄子(ヴァイオリン)・佐々木友子(ヴィオラ)・渋谷陽子(チェロ)

小林弘人 作曲

庭のヴィジョン(Garten-Vision)(初演)

小林弘人(ピアノ)

小西奈雅子 作曲(和歌:良寛)

〈雪〉箏と唄のための(初演)

武藤祥圃(箏・唄)

遠藤雅夫 作曲

〈線の転写〉ヴァイオリンとピアノのための(初演)

佐々木友子(ヴィオラ)・遠藤雅夫(ピアノ)



Kenta SUZUKI



Yasuko ICHIHASHI



Junko KITAZUMI



Shoko HIROKAWA



Masahiko SHINADA



Aki OGURO



Tomoko SASAKI



Shoho MUTO



Aya IKARASHI



Yoko SHIBUYA

主催/「越の風」実行委員会 共催/一般社団法人日本作曲家協議会 協賛/ヤマハミュージックリテイリング新潟店

助成/公益財団法人新潟市芸術文化振興財団(申請中) 後援/新潟県・新潟市教育委員会

チケット取り扱い/ヤマハミュージックリテイリング新潟店、伊勢丹、コンチェルト、北書店 お問い合わせ/025-260-2603(事務局) koshinokaze-com@hotmail.co.jp

越の風

Koshi no Kaze

2013

ロシア・ウラジオストクの
作品を招待して

●作曲家プロフィール

多田 望美

新潟県刈羽村出身。2008年お茶の水女子大学音楽科作曲専攻を卒業後、2010年同大学院音楽科ピアノ専攻を修了。2000年「月刊ピアノ」ミレニアムオーディション作曲部門グランプリ受賞。大学在学時代より、オペラユニットLEGENDほか、各アーティストや合唱団への楽曲提供を行うとともに、自身もピアノでの演奏活動を行う。現在は大学同期と、創作コンサート・プロジェクト「ユメカゴ」を立ち上げ、ダンスなど音楽以外の芸術とのコラボレーションや、レクチャーを交えた新しい感覚のコンサートも行っている。これまでに作曲を後藤淳、浦田健次郎、近藤謙 各師に、ピアノを、押見佳子、故・住吉俱子、小坂圭太各氏に師事。

福島 諭

1977年新潟生まれ。新潟大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程卒業。IAMAS(岐阜県立情報科学芸術大学院大学)修了。2002年よりライブエレクトロニクスを使用した作曲作品を発表。生演奏とコンピュータによる即興を試みるMimizの一人。近年は濱地潤一氏との室内楽にも力を入れている。MimizとしてARS ELECTRONICA 2006栄誉賞、個人として第六回JFC作曲賞入選等。日本電子音楽協会会員。作曲を三輪眞弘氏に師事。

濱地潤一

saxophone奏者、作曲家。サクスを津上研太氏に師事。

村尾幸映

先天性視覚障害ながら一般の小中学校で教育を受け、高等学校から盲学校に転じ文字を覚えた。卒業後、松永通温氏に作曲を基礎ながら師事。太い灰色の帯状にしか見えない線の中に5本の平行線を想像し、音符を埋め込む方法を編み出した。試行錯誤の末、文字や楽譜を自由に書ける様になった。丸10年余りの長い道のりだった。作品は今も暗譜しながら書いている。1971年大阪で個展を開催。以後日独現代音楽のタペ、プロムジカコンサート、日本音楽集団定期演奏会に連続5回。アジア音楽祭2012、日本の作曲家2013等に出品。松永通温、入野義郎両氏に師事。日本作曲家協議会会員。

後藤 丹

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修士課程修了。主な作品に、チェロとピアノのための《夏の歌》(日本作曲家協議会刊)、混声合唱組曲《気球の上る日》(音楽之友社刊)、連作歌曲集《この世界のぜんぶ》(日本作曲家協議会刊)、混声合唱組曲《みまかれる美しきひとに》(全音楽譜出版社刊)等。また、パッヘルベルの《カノン》、マラーの《アダージェット》、チャイコフスキーの《くるみ割り人形》等、数多くのピアノ独奏・連弾のための編曲が全音楽譜出版社から刊行されているほか、「祈りのパッサリ」、「おいしいピアノレシピ・フルコース」等解説執筆の仕事も多い。現在、上越教育大学大学院教授、日本作曲家協議会会員。

木下大輔

横浜市出身。東京藝術大学大学院音楽研究科修了。尾高惇忠氏に師事。主要作品:《ゆがんだ十字架のヴァリアント》ピアノ独奏のための一、《氷のなかの火》フルートとピアノのための一、《三つの女の歌》(偏西風—マリナバ独奏のための一)ほか、CD:『日本の作曲家2012』(JFC)。主要論文:「移調の限られた魔法をめぐるメジアン音楽語法の実験」(日本オケスタ研究)、ラヴェルの和声様式」(日本音楽学会)ほか、著書:『キーワード150音楽通論』(共著)ほか、第8回日本の音楽展作曲賞受賞。奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門、TIAA全日本作曲家コンクールなど、入賞・入選多数。現在、宇都宮大学教育学部准教授。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会 各会員。

小林弘人

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て2000年同大学院を修了。在学中より作・編曲家として舞台作品、室内楽作品等を手がけている。作曲家グループNew Sound Scape96メンバー、演奏家としても、クラシックはもとよりFUJI ROCK FESTIVAL出演をはじめCM録音、ジャズオルガンまで幅広いジャンルの活動を続けている。近年サイレント映画のピアノ即興伴奏者として東京国立近代美術館フィルムセンター企画や東京国際映画祭などに出演。現在東京芸術大学音楽環境創造科、東京音楽大学ソルフェージュ科、洗足学園音楽大学講師。

小西奈雅子

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院修了。カリフォルニア大学大学院留学。全日本合唱連盟課題曲コンクール第1位。作品は国内外で多く演奏されている。1981年日本女性作曲家連盟を設立。92年までピアノを務める。作品にはオーケストラ、室内楽、独奏曲、歌曲、合唱曲、邦楽器作品があり、楽譜、CDも多数出ている。この他にも新潟のサロンコンサート、ロビーコンサートなどを定着させた「ノントロップにいがた」の10年間の活動や、夏の音楽祭「音楽浴」を12年間企画運営では、若い音楽家の育成につとめた。又、95年から10年間開催した子供達のためのコンサートは高く評価された。2006年新潟県出身、在住の演奏家で「新潟ARS NOVA」を結成し、新潟県内での演奏活動を展開中。新潟ARS NOVA代表、日本作曲家協議会会員。

遠藤雅夫

東京生まれ。東京藝術大学大学院修了。ISCM、ACLを始めとして、内外で数多くの作品が演奏されてきた。ここ数年作曲活動に加え、即興演奏を含むピアノ演奏活動を展開している。最近では安田謙一郎氏作曲のチェロとヴァーショナルのための作品で、ヴァーショナル奏者をつとめ好評を得た。近年の作品。2012年:ピアノトリオ、水の島の歌(フルート・オーケストラのための)、2011年:ヴィオラのために(本年11月28日東京で佐々木友子さんにより初演)、キューグナス(マリナバのための4つの小品=昨年越の風で演奏された)。現在、(一般社団法人)日本作曲家協議会副会長、日本・ロシア音楽家協会運営委員長、日本現代音楽協会理事。

アルビーナ・バソワ

ハバロフスク出身。ウラジオストク芸術アカデミーで作曲とピアノを学ぶ。モスクワのアカデミーで学んだ後、現在ウラジオストク極東芸術アカデミー教授として後進の育成、作曲活動を活発に行っている。

●演奏者プロフィール

市橋靖子(フルート)●東京藝術大学音楽学部別科フルート専攻修了。フルートを磯部進、堀井忠、中野富雄、高野成之の各氏に師事。新潟ARS NOVA、Flute duo Parfait各メンバー。新潟市ジュニアオーケストラ教室、新潟市消防音楽隊 各講師。新潟市出身、佐渡市在住。

鈴木賢太(ピアノ)●東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学院音楽研究科修士課程を修了。その後、約2年間オーストリア・ウィーンに留学し、更に研鑽を積む。ピアノを梅谷進、故安川加壽子、R.ケーラー、K.バルト各氏に師事。これまで東京や新潟で計10回のピアノ・リサイタルを開催したのをはじめ、アンサンブル・ピアニストとしても、清水研作氏による「What's music」の第4・5回演奏会(第四銀行主催)に出演するなど幅広く活動している。現在、新潟大学教育学部音楽科准教授。

五十嵐 文(サクソ)●洗足学園短期大学音楽科、東京コンセルヴァトアール尚美音楽社会研究科在学中、学内専攻優秀賞受賞。フランス・パリ市立ベルリオーズ音楽院高等科、リラ市立フォレ音楽院高等科、フランス国立トロワ音楽院上級課程卒業。フランス・ピカルディ音楽コンクール2位。パリ市室内楽コンクールにて審査員会員一致の一位、並びに審査員特別賞を得る。現在、ソロやサクソフォン四重奏「新潟サクソフォニカ」を主宰し様々なコンサートを開催。また、わたじん楽器新潟、北越楽器長岡、新潟県立中央高校音楽科にてサクソフォンの講師を務める。

品田真彦(ピアノ)●新潟中央高校音楽科卒業後、渡独。ロストック国立音楽大学器楽学科ピアノ、室内楽学科卒業。及びワイマール国立フリスト音楽大学にて音楽理論学科修了。ローマ国際ピアノコンクール第3位。ソリストとして、新潟中央高校管弦学部、ロストックドイツフィルハーモニー、メクレンブルガーカンマーゾリステンと共演。2011年10月に帰国し、ソロ、室内楽など各地で演奏活動を行う一方、自宅や新潟市にてピアノ、ソルフェージュを指導している。ピアノを押見栄喜、遠藤吉比古、B・ツァックの各氏に、音楽理論をJ・アルネツェ氏に師事。田上町在住。

廣川抄子(ヴァイオリン)●新潟市出身。東京藝術大学卒業。海野義雄、山岡耕作、伊藤浩史、白井充子、音楽理論を小西奈雅子の各氏に師事。第6回ソリストコンテストで奨励賞を受賞。東京ニューシティ管弦楽団、新潟交響楽団と共演。浜離宮朝日ホール、だいしホール等多数リサイタルを行う。自作自演でダンスとのコラボレーションなど、舞台にも数多く出演。アンサンブル・デュオニス、新潟ARS NOVAメンバー。新潟市ジュニアオーケストラ教員講師。

渋谷陽子(チェロ)●桐朋学園音楽大学卒業。同大学研究科を経てスイス・ローザンヌ音楽院を第1位、奨励賞を得て卒業。トリオ・ベルガルモ、新潟ARS NOVAのメンバーとして演奏活動を行うとともに、桐朋学園「子供のための音楽教室」新潟教室、新潟市ジュニアオーケストラ教室の講師も務めている。鷲尾勝郎、倉田澄子、松波恵子、林峰男の各氏に師事。

北住順子(ソプラノ)●国立音楽大学教育音楽学科卒業。卒業時に岡本賞受賞。リサイタル、コンサート、オペラ、第九ソリストなど様々な演奏会の舞台上に立ち研鑽をつむ。ラナンキュラスの会(声楽)、長月の会(ピアノ・ソルフェージュ)主宰。NHK文化センター新潟教室講師(オペラへの招待)、「コラス火曜日」指揮者。新潟青陵大学短期大学部非常勤講師。

小黒亜紀(ピアノ)●新潟県立新潟中央高等学校音楽科、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学卒業演奏会出演。第9回シヨパン国際ピアノコンクールinASIA一般部門アジア大会銅賞、第13回日本演奏家コンクール一般A部門特別賞、第40回新潟県音楽コンクール大賞 受賞。2011、2013年ソロリサイタル開催。ピアノを弘中孝、横山幸雄、宮崎和子、藤井晶子、村山和子の各氏に師事。コンクール、発表会でのゲスト演奏や多くの声楽家、器楽奏者との共演など、活動の場を広げる傍ら、後進の指導にあたっている。

佐々木友子(ヴィオラ)●新潟市出身。桐朋女子高等学校、桐朋学園大学を卒業。2003年に渡英し、英国王立音楽院にて演奏家ディプロマを取得。第36回新潟県音楽コンクールにて県知事賞受賞。2005年、ヨーロッパ・ベートーヴェンピアノトリオ協会コンクール第1位。現在、新潟を拠点にソロや室内楽の演奏活動、後進の指導にあたっている。県立新潟中央高等学校音楽科非常勤講師。

武藤祥園(箏・唄)●新潟市出身。幼少より祖母に山田流箏曲の手ほどきを受ける。新潟大学を経て東京藝術大学卒業及び同大学院修士課程修了。平成17年度文化庁新進芸術家国内研修員修了。平成17年10月〜20年3月まで同大学非常勤講師(助手)・教育研究助手。これまで室岡松孝・亀山香能、四代萩園松韻の各師に師事。新潟県探楽連盟理事、新潟市音楽芸術協会まつり委員。新潟市三曲連盟、箏曲新潮会会員。箏曲松壽會主宰。主に東京と新潟で演奏・教授活動を行っている。